

学校名	小岩小学校	対象学年と人数	第1・2学年 115名
活動名	どんぐり拾いをしよう		
指導者	学内指導者：2学年担任（島田雅子、田代里恵）1学年担任（石橋けやき、石井直樹） 学外支援者：えどがわエコセンター 吉野早苗さん 小林千加子さん 篠崎公園までの交通安全見守りとして保護者12名 （役割分担）司会：本校教員 資料提供及び支援：えどがわエコセンター支援者		

目標

秋の公園で、草花、樹木などの様子を観察することを通して、季節の変化や自然の不思議さに気づき、自分たちの生活を楽しくしたりすることができるようにする。

成果

- えどがわエコセンター環境学習出前授業を通して、以下のことを知ることができた。
 - ・どんぐりの種類
 - ・マテバシイやクヌギなどのどんぐりの実がなる木について
 - ・どんぐりやまつぼっくりの形
 - ・どんぐりを餌にしている動物について
 - ・人間はその昔食べることができたこと
- 拾ったどんぐりを活用して、自分たちの生活を楽しくするおもちゃ（的あて、マラカス、迷路等）をつくることができた。

感想・課題等

【感想】

- ・昨年度までも同様に「どんぐり拾い」を実施していたが、どんぐりについて詳しい教員はいなかった。えどがわエコセンターの支援者にどんぐりについて専門的な話をしていただいたことにより、児童は自然に関心をもつことができ、より意欲的にどんぐりを拾うことができた。
- ・どんぐりの種類が掲載している図鑑を用意していただいたことにより、児童が拾ったどんぐりがどの種類なのか調べることができた。

【課題】

- ・台風通過後にどんぐり拾いを実施した。台風の暴風により大量のどんぐりが公園内に落ちたことにより、公園内清掃が入り、どんぐりの収穫量が例年より少なかった。どんぐりが地面に落ちている量は、直前に公園内を視察しないとわからない。
- ・次年度はどんぐりを活用したおもちゃづくりについて、えどがわエコセンターより支援いただきたい。